

公益財団法人大河内記念会

令和2年度事業計画書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

生産のための科学技術の振興を目的として、次のとおり表彰事業等を実施する。

1. 表彰事業

(1) 大河内賞贈呈

理工系大学、研究開発機関、学協会、産業団体、企業等に対し、生産工学、生産技術の分野の卓越した研究開発業績の推薦を依頼する。これを受け推薦のあった業績について、大河内賞審査委員会により審査・選考を行い、大河内賞（記念賞、生産特賞、技術賞、生産賞）の候補業績を選定する。理事会における最終審議を経て、贈賞業績を決定し、贈賞を行う。

今年度の推薦締切日は令和2年8月中旬、贈賞式は令和3年3月下旬を予定。

(2) 受賞業績報告書等の発行

第66回（令和元年度）大河内賞受賞業績の技術内容を掲載した「大河内賞受賞業績報告書」を発行して、国内の理工系大学、研究開発機関、学協会、産業団体、企業、賛助会員等に配布する。このほか、大河内記念会の事業活動の内容や関連の産業技術関係記事等を掲載する機関誌「五兆」を発行し、上記報告書同様関係各方面に配布する。

「大河内賞受賞業績報告書」及び「五兆」の発行は令和2年6月下旬を予定している。なお、当会ホームページ上に受賞業績の内容を掲載する。

(3) 見学会等

受賞業績に係るフォローアップに関連して、大河内賞受賞者、当会賛助会員等を交えて「生産のための科学技術」に関する見学会等を大河内賞の受賞事業体等の協力を得て開催する。見学会等の実施時期は、令和2年10月末を予定している。

2. その他

当記念会の表彰事業の充実及び当該事業に係る財政基盤の強化を図るため、賛助会員の増強と随時寄附金の勧誘に努める。

以上